

第3回 信州 知の連携フォーラム

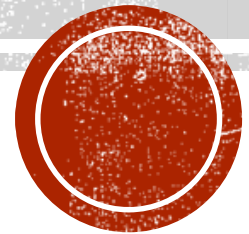
MLAリレー式ワークショップその①

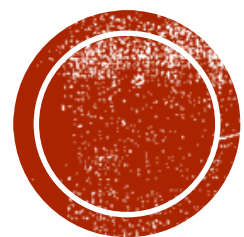
寺社のMLAを体験する

～地域の文化資産を見て・知って・整理して・発信する～

和古書の目録作成

早稲田大学文学学術院講師 門屋 温

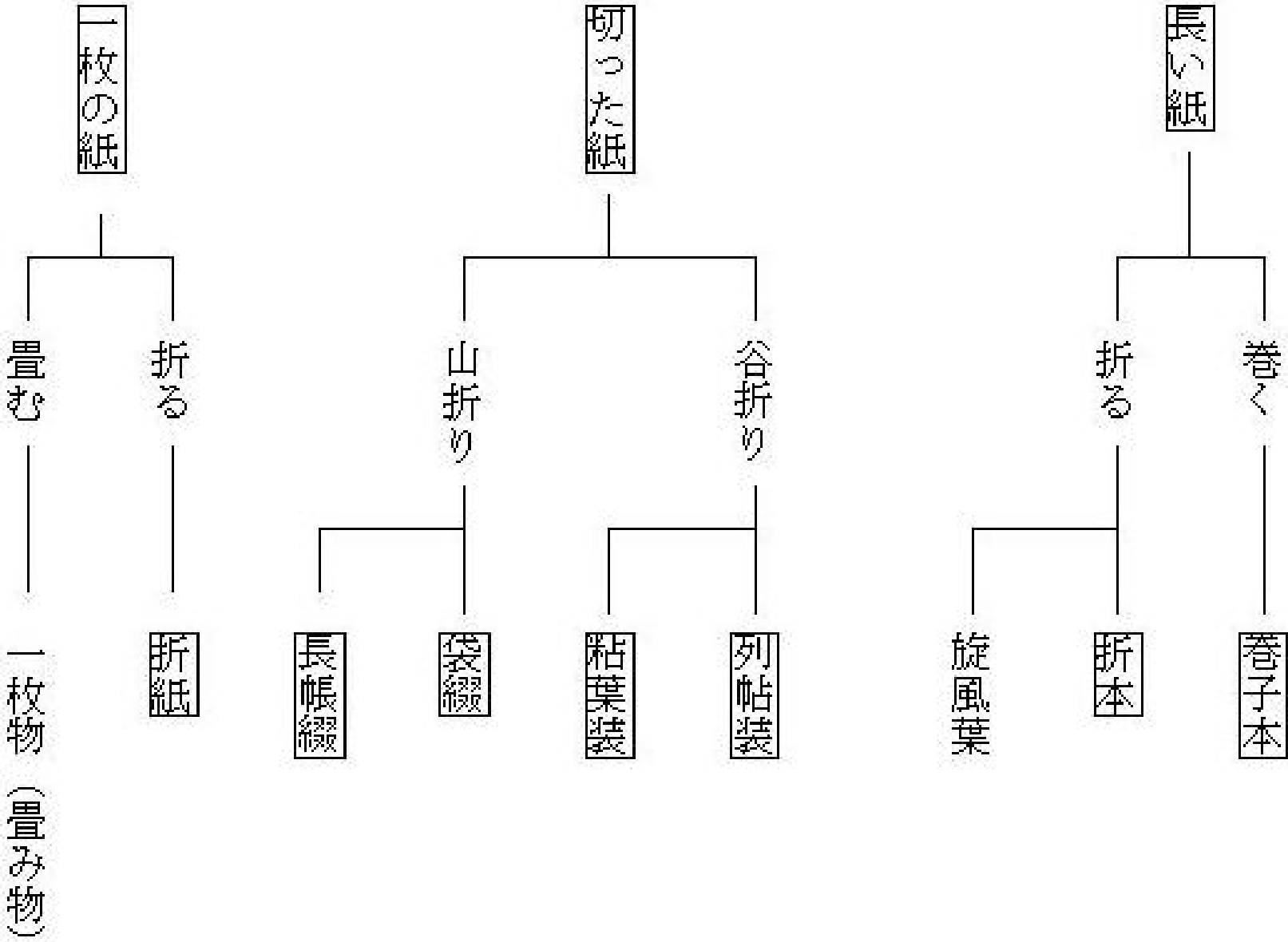




和古書の目録作成

和本の形態について

紙の形



⑩装丁

- 卷子本
- 折本 (旋風葉・折帖装)
- 列帖装
- 粘葉装
- 袋綴じ
- 長帳綴



長い紙をそのまま用いる

■ 卷子本 卷物

■ 折本 卷子を蛇腹に折ったもの

■ 旋風葉 折本の表紙をつなげたもの

■ 折帖 二つ折りの紙を蛇腹に糊付けしたもの



切った紙を折って束ねる

- 列帖 数枚ずつ糸でかがったもの
- 粘葉 一枚ずつ糊付けしたもの
- 袋綴 長辺を糸で綴じたもの
- 長帳綴 短辺を糸で綴じたもの



一枚の紙

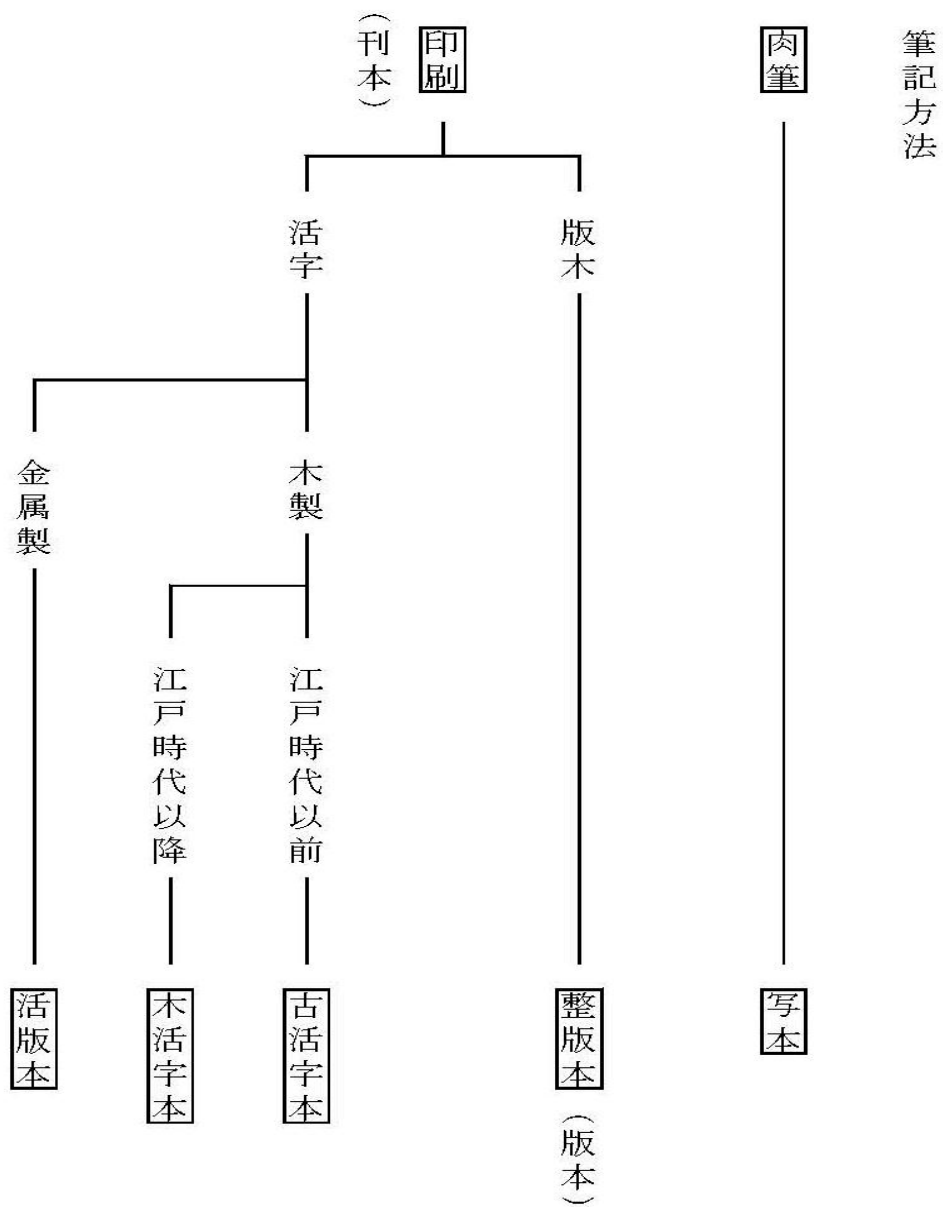
- 折紙 手紙や文書等、紙を細長く折って授受したもの
- その他（一枚物・畳み物など）
絵図や見取り図のように広げて見るものを畳んであるもの



⑨料紙

- 楮 楮紙 最も一般的な紙
- 雁皮 雁皮紙 光沢のある高級紙
- 洋紙 近代以降の木材パルプの紙
- その他 鳥の子や竹紙等の特殊な紙





⑪写・刊の区別

写本

整版

古活字

木活字

活版



⑪写・刊

写本（手書き）か刊本（印刷）の区別

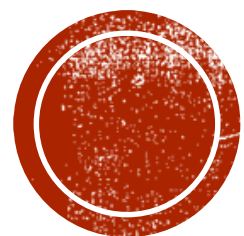
- 古活字 室町末から江戸初の活字版
- 木活字 江戸後期の活字版
- 整版 版木による印刷本
- 活版 近代以降の活版印刷



古活字・木活字版の特徴

- 版型の大きいものが多い。
- 匡郭の四隅が切れている。
- 一字ごとに濃淡がある。
- 一行あたりの字詰めが一定。
- 字の向きが違っている場合がある。





和古書の目録作成

書誌カードの取り方

区番号 22
奥書・刊記など ・角書：異朝因縁 ・作者：乞工慧燈 ・刊記：享保十三年戊申四月穀旦 浪華 書林 敦賀屋九兵衛板行 大坂心春橋頭慶町
・丁数 卷2：目録2，本文17 卷4：〃2，〃19 卷5：〃1，〃17 卷6：〃2，〃20 卷7：〃1，〃17 ・裏表紙の見返しに付丁あり（巻1）

区分	佛法紹隆寺	区番号 23
著者・題名	慧燈	書写者・書題名 敦賀屋九兵衛
字・刊（古活字・木活字・鉛活字） 活字 年次 享保十三年 4月1日	装丁 巻子・折本・列帖・粘葉・綴葉・長巻綴・折紙・洋装本・その他	表紙・扉・巻・色・模様など 濃青・ナン
見返し題（有・無）/ 扉題（有・無） ナン	内題（有・無） 勸善懲惡集	外題（有・無） 勸善懲惡集
柱題（有・無） 〇勸善懲惡集一	尾題（有・無） 勸善懲惡集	数量 全 7 巻の内 6 (註・軸・枚) 1 (巻2は2枚)
所蔵者・授受者 白描・彩色・墨印・色刷・丹紙	所蔵者・授受者 序・序者・年記 勸善懲惡集・未詳・享保12年12月15日	分類・影印・画像（有・無） (国文研・NDL・その他)
保存状態 (有・無) 不良 (破・汚・痕・虫)	寸法 縦 26・4 cm × 横 18・5 cm	区部 (有・無) 縦 21・0 cm × 横 15・7 cm (四周) 双 左右双 界線 (有・無)
一面行数 10 行 一行字数 28 字	丁付 (有・無) (註) ノドオモテ・ノドウラ・カクレ	丁数 巻1：序2，目録1，本文16 →ウラハ
本文 (有・無) 平 書入 (同・別) (墨・朱)	什物印 (1才右上)	所蔵者番号 (有・無)
調査年月日 2019 年 3 月 8 日	記録者 信大 ナ	

書誌カード見本
 内容についての情報
 外形についての情報
 目録等で調べなければならぬ情報



区分							仮番号
著(編・題)者	著・刊(百格字・木格字・整版・活版) 年次	巻丁 巻子・折本・列帖・粘葉・錦綴・長巻綴・折紙・洋装本・その他	紙 楠・厚皮・洋紙・その他	装 装(原・後・色・紙類など) 箱・帙・袋・その他(有・無)	尾 尾(有・無)	尾 尾(有・無)	内 内(有・無)
書名	書名者・書名						外 外(有・無)(編・直) 刷・巻(原・後・左・中)(単・双)
所蔵者・年記	所蔵者・年記	序(有・無) 序題・序者・年記	絵(有・無) 白描・彩色・墨印・色刷・丹緑	所蔵者・授受者(□)―□	数量 (冊・軸・枚)	全	巻の内
					刷刻・影印・画像(有・無)(国文研・NDL・その他)		
					保存状態 良・不良(破・汚・変・虫)		
					寸法 縦・横 cm×横 cm		
					区割(有・無) 縦・横 cm×横 cm (四周単・双 左右双) 界線(有・無)		
					一面行数 行 一行字数 字		
					丁付(有・無) 柱・ノドオモテ・ノドウラ・カクレ 丁数		
					本文 漢・片・平 書入(同・別)(墨・朱)		
						蔵書印(有・無)	所蔵者番号(有・無)
調査年月日	年	月	日	記録者			

まず最初に
 所蔵者名
 仮番号
 調査年月日
 記録者氏名



①作品名

- 複数の呼び名がある作品もあるので、
目録等で調べて最も一般的な作品名に
統一する。



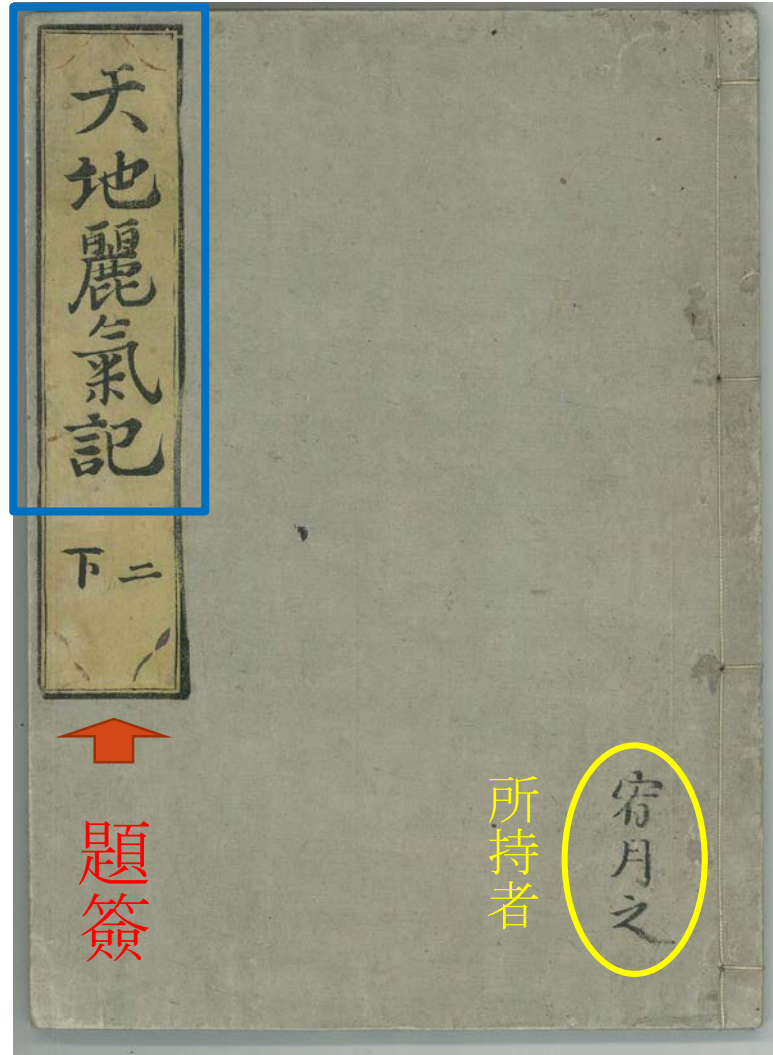
②外題

そのまま書く／角書きや巻数は不要

- (箋・直) 題簽貼り付け／直書き
- (刷・書) 刷り物／手書き
- (原・後) オリジナル／後補
- (左・中) 表紙の左側／表紙の中央
- (単・双) 題簽の枠が単線／二重線



外題



表紙と外題

題簽

外題

所持者名



③内題

- そのまま書く／「巻一」等は不要

④柱題

- 題名だけでなく、魚尾等の飾りや丁付けも含めて版心をそのまま書き写す。



内題と柱題

内題

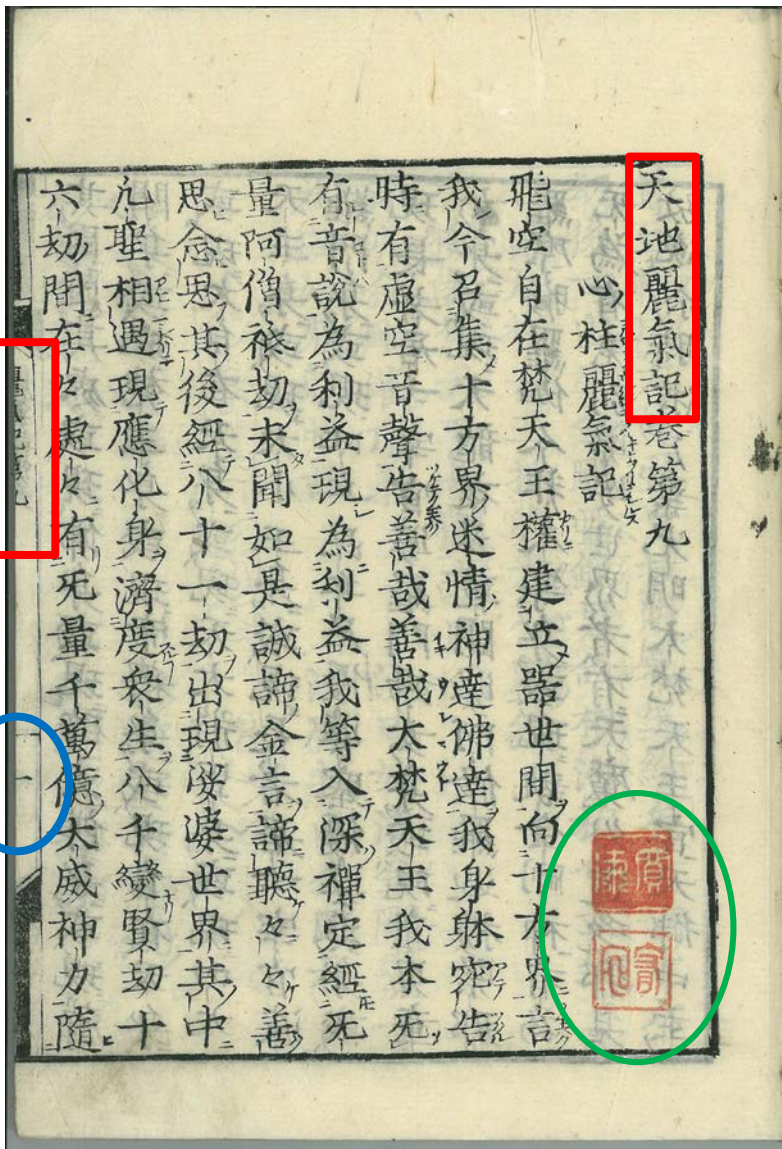
柱題

丁付け

蔵書印

内題

蔵書印



天地麗氣記卷第九

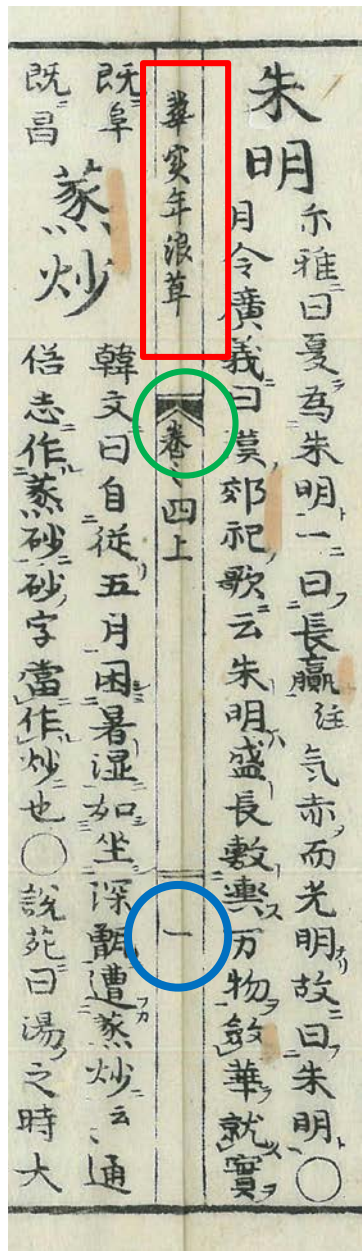
心柱麗氣記

飛空自在梵天王權建立器世間向十方界言
我今召集十方界迷情神達佛達我身躰究告
時有虛空音聲告善哉善哉大梵天王我本无
有音說為利益現為利益我等入深禪定經无
量阿僧祇劫未聞如是誠諦金言諦聽之善
思念思其後經八十一劫出現娑婆世界其中
九聖相遇現應化身濟度衆生八千變賢劫十
六劫間在之處有死量千萬億太威神力隨

柱題

丁付け





柱題

魚尾

丁付

版心の各部位

柱題

魚尾

丁付け



⑤尾題

- そのまま書く／巻数や「終」等は不要

⑥見返し題／扉題

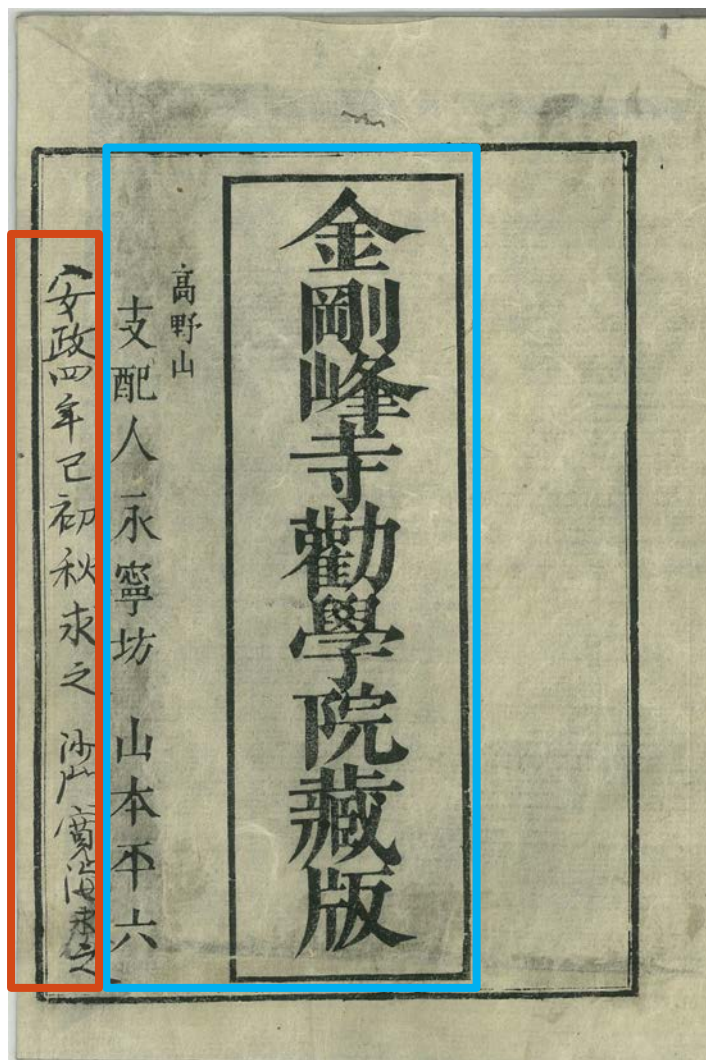
- 表紙見返しや本文扉に題名や著者名がある時は題名を記す。
- 著者名や書肆名等の情報は裏面に記す。



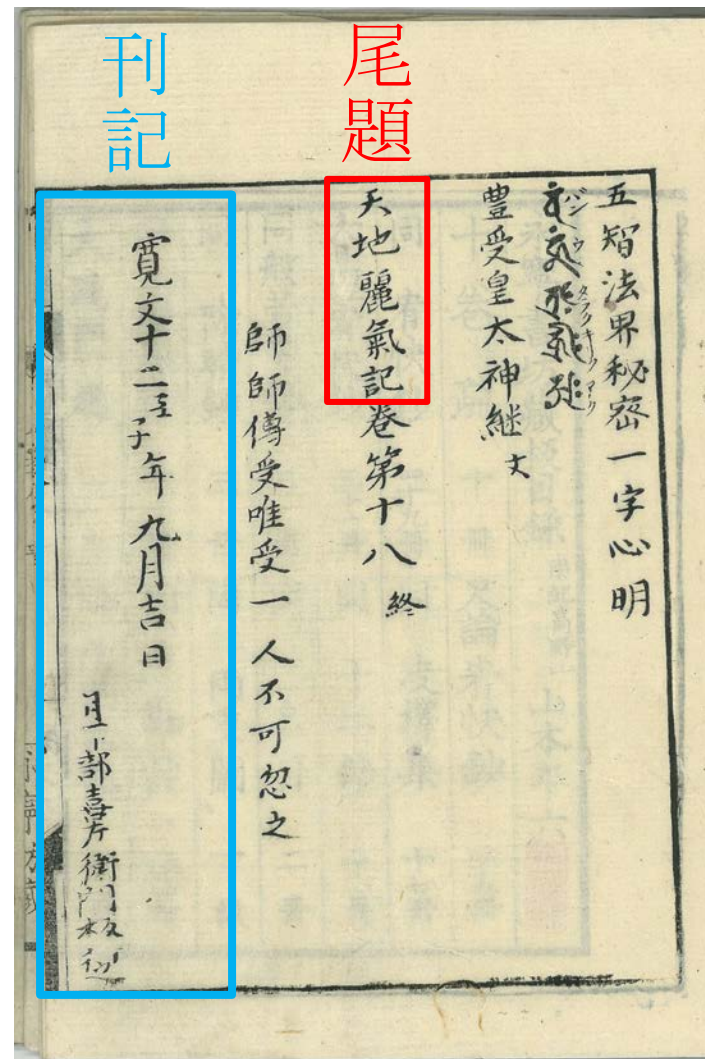
尾題と刊記

尾題

刊記



所持有者名



⑦表紙

- （原・後）オリジナルの表紙／後補
- 色 青・黄・茶等基本色と濃淡を記す
- 模様 刷りや浮き出しの模様がある場合はそれも記す。

⑧箱・帙・袋・その他

- 本を収納する箱等があるときは記す



⑫著（編・撰）者

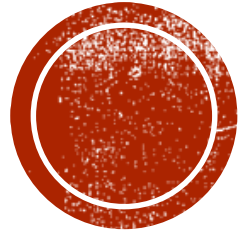
- わからないときは「未詳」と記す
- 撰者 通常は歌集などの撰者のことを言うが、古典籍の場合「著述」を「撰述」と言う場合もあり、「著者」と「撰者」の区別はそれほど厳密ではない。



⑬書写者・書肆名

- 書写者 写本の場合、奥書から書写した人物が特定できれば記す
- 書肆名 刊本の場合、刊記から版元がわかれば記す。複数の版元による共同刊行の場合は代表を挙げて「○○他」と記す。刊記は裏面に書き写す。





それでは、ここまでの項目を
各自書き入れてみましょう。

後半に行く前に休憩を取ります。

● 休憩時間 (20分)

後ろのサンプルをさわって確かめてみよう。

⑭数量

- 冊 袋綴等、冊子型の書籍の数え方
- 軸 卷子本の数え方
- 枚 折紙や一枚物の数え方
- 卷 現物の数量ではなく、内容の巻数。



⑮ 翻刻・影印・画像

- 近代以降、その本の内容が出版等で複製公開されている場合はその所在を記す。
- 翻刻 活字化されて出版されている
- 影印 写真版で出版されている
- 画像 大学や図書館等のサイトに画像として公開



⑩保存状態

- 良 基本的に読むことができれば〈良〉とする
- 不良 読むのが困難なほど傷んでいる場合
 - 破 破れている
 - 汚 汚れている
 - 疲 くたくたになっている
 - 虫 虫食いがある



⑰寸法

- （縦×横）を計測する。縦を先に。
- 単位は0.1cm（例：○16.0cm・×16cm）
- 卷子本の場合は（縦×長さ）

（紙の長さを測って合計する）



⑱ 匡郭

- 縦×横 丁の片面の内法を計測する。縦が先
- 四周単 上下左右がすべて単線
- 四周双 上下左右がすべて二重線
- 左右双 上下は単線、左右は二重線
- 界線 行間に罫線があれば記す



匡郭と版心

匡郭

柱(版心)

華實 三餘抄卷之四上 三餘齋席文著

華浪草 漢書律曆志曰太陽者南方南任也陽氣任養物於時為夏者也○釈名云夏むけ也

炎帝 帝○淮南子曰南方火也其神祝融祝融顓頊氏之子

祝融 日黎為火官正者○月令廣義曰祝融其神祝融祝融顓頊氏之子

昊天 暮要曰天曰昊天○氣浩汗

朱明 亦雅曰夏為朱明○長軌注氣赤而光明故曰朱明○月令廣義曰莫即祀朱明盛長教興万物致華就實

既年 韓文曰自從五月困暑濕如坐深甑遭蒸炒云通既昌 蒸炒 倍志作蒸炒砂字當作炒也○說苑曰湯之時大旱七年維折川竭煎沙爛石云

四月 潛確類書曰孟夏者日月會于實沈而斗建己之辰晉樂志云己者起也物至于此畢盡而起也○此月卯月トイフハ○釈名云四月波流花トリトヒツルヲルカ月トハト略キ○藏玉トリトヒツルヲルカ月トハト長明ト略キ

仲呂 律○月令曰律中仲呂高誘注云陽故在外陰實在中所謂張陽成功○月令廣義曰仲呂白虎通云言陽氣極將破故後中難之也普志曰呂者助也陰助成陽之功也

立夏 節○月令廣義曰立夏四月節孝經緯云穀雨後十五

寸法



①九一面行数・一行字数

- 一面あたりの行数を記す
- 一行あたりの字数を記す。
- 写本の場合、字数に幅があるので「○字前後」と記す。



②0 丁付・丁数

- 柱 版心に丁付けがある
 - ノドオモテ 綴じ目のノド部分の表側
 - ノドウラ 綴じ目のノド部分の裏側
 - カクレ 粘葉ののりしろ部分
-
- 丁数 1冊ごとに数える



②1 本文

漢字・カタカナ・ひらがなの区別を記す

- 書入 所蔵者による書き込み
 - 同 写本の書写者と同筆
 - 別 写本の書写者と別筆
 - 墨 墨（黒）による書き込み
 - 朱 朱（赤）による書き込み



②②所蔵者番号

- 所蔵者による分類や図書番号が振られている時はそれを記録する。



②③ 蔵書印

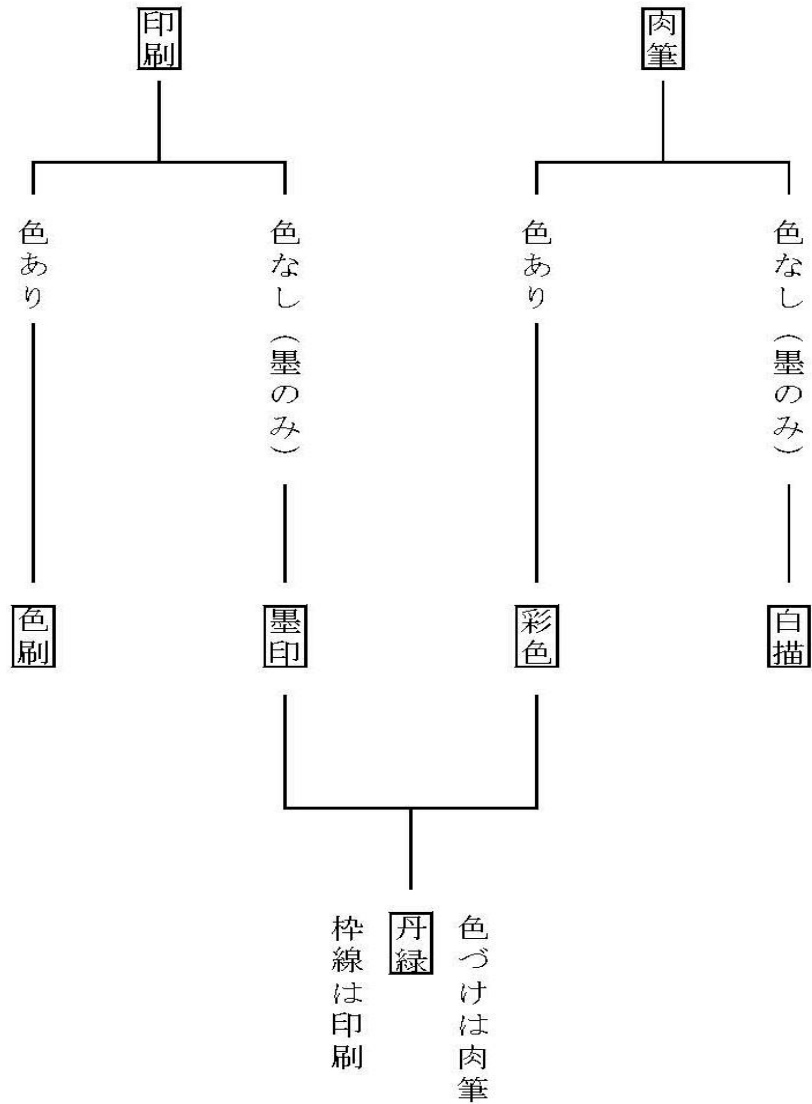
- 基本的には印影をそのまま書き写す。
- よく使われている蔵書印については略称を用いて記す。



②4 所持者・授受者

- 所持者 表紙や蔵書印から旧蔵者がわかる場合はすべて記す。
- 授受者 師匠から弟子へ伝授されたことがわかる場合は「甲→乙」と表記する。





②5 絵の分類

白描

彩色

墨印

色刷



②5 絵

- 白描 墨で描かれた絵
- 彩色 彩色が施された絵
- 墨印 モノクロ印刷の版本
- 色刷 色刷りの版本
- 丹緑 墨印に手彩色を施したもの



②6 序

作者自身による「自序」と他人がつける「序」がある

- 序題 序に題があれば記す
- 序者 序の筆者がわかれば記す
- 年記 序に年月日が書いてあれば記す



②7 跋

- あとがき 「後序」とある場合も跋に含める
- 跋者 跋文の筆者
- 年記 跋文に年記がある場合は記す



②⑧ 奥書・刊記など（裏面）

- 「奥書・刊記」は本の来歴を知るための重要なデータなので、すべて正確に書き写す。

